

# 平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 149	<b>提案機関名</b> 水産課漁業調整・資源管理班
<b>要望問題</b> 幼稚仔保育場の機能の定量的評価	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 <背景> 近年、漁港漁場整備に係る事業においては、藻場、干潟等の造成による水産動植物の生育環境を保全・創出する取り組みが重点的に推進されている。しかし、その機能の定量的な評価については知見が乏しく、費用対効果の適正な算出が困難な状況である。 <内容> 人工リーフ、造成アマモ場において、水産生物の幼稚仔の出現状況（種別、時期別の数量、成長など）を漁場未造成の水域と比較するとともに、漁業資源への加入量を推定し、事業の経済的な効果を評価する。 <対象地域及び規模など> 人工リーフ 所在地 小田原市地先 御幸ヶ浜 造成規模 220m×50m=1.1ha 造成アマモ場 所在地 横浜市地先 金沢湾、横須賀市地先 小田和湾 造成規模 0.105ha	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
<b>研究対応区分</b>	①研究所対応 ②委託研究 ③共同研究 ④その他
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業総合研究所（②根府川試験場 ③三浦試験場 ④津久井試験場） ⑤畜産研究所 ⑥水産総合研究所 ⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場） ⑨自然環境保全センター

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	水産総合研究所栽培技術部、相模湾試験場
部 署	栽培技術部、相模湾試験場
<b>対応区分</b>	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
<b>試験研究課題名</b>	(①、②、④の場合) 魚礁効果調査（人工リーフに造成された藻場の保護育成機能等の調査）
<b>対応の内容等</b>	<b>人工リーフについて</b> 平成13年～15年度の3ヵ年において、標記試験研究課題の一環として、人工リーフに造成された藻場における水産動物幼稚仔の出現状況を調査中である。この結果をもとに、本提案への対応を行いたい。 <b>造成アマモ場について</b> 平成15年度から新規事業として、アマモ場の造成に着手しましたが、平成16年度からモニタリング調査に入ります。その中で蠕集生物に関する定性把握は可能ですが、定量調査は計測方法や変動幅の把握など未解決の問題があり、本提案に対する回答は時間を必要とします。
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
<b>備考</b>	